

2020. 10. 1

道端や林床に秋を感じさせる花々、カラスウリの朱色の実、クサギの青い実、ススキの穂波、ドングリ・・・涼しくなって一気に秋本番となりました。稲刈り後の田んぼは産卵のためのトンボが飛び交い、チョウやハチは蜜を求めて花探し、いつもの静かな秋の里山の風景が広がります。

### 野路に咲く キクのなかま



ユウガギク



シロヨメナ



ノコンギク



カントウヨメナ



シラヤマギク



11月中旬

リュウノウギク



ヤクシソウ

秋を彩る野草が咲いています

### 林内・湿地に 咲く野草



イヌショウマ



サラシナショウマ



ツクバトリカブト



ポントクタデ



シロバナサクラタデ



ミソソバ



コメナモミ

### <季節メモ> セイタカアワダチソウ

最近、セイタカアワダチソウの群落を見ることが少なくなりましたが、黄金色の秋の花といえばやっぱりこの花ですね。あまり歓迎されない植物ですが、虫にとっては冬前の貴重な蜜源です。かつては、花粉症の元凶と思われた時期もありましたが、虫に花粉を運んでもらう虫媒花ですから、多少の飛散はあっても人への影響は少ないとのことです。

しかし、タネを飛ばし、地下茎を広げて繁茂、さらに他の植物が生えないようにする化学物質を出して自分の環境を守り続けます。ところが、自分の出した化学物質に負けて衰退してしまうこともあるのです。セイタカアワダチソウが目立つ時期とそうでない時期があるのも納得ですね。

丈夫な茎は乾燥してすだれや壁掛け、蕾の時期に刈取り干して入浴剤・・・今年も、挑戦してみようと思います。 写真・編集：晝間

